2026年1月26日
北陸経済連合会

2026年度事業活動方針

今般策定した第六次中期アクションプランの初年度として、以下の各事業に取り組む。

【2026年度の主な計画】

１.「つながる北陸」～地域経済循環を持続的に生み出す社会基盤整備の促進～

(1) 北陸新幹線の大阪までの早期全線開業

・敦賀～新大阪間の早期着工、早期全線整備に向けた要望活動、中央情勢の把握
・関西地域の機運醸成に資する沿線自治体や関西経済界と連携した活動

(2) 陸・海・空一体となった人流・物流基盤の強化

・高規格幹線道路、空港、港湾、鉄道等の人流・物流基盤の強化に向けた要望活動や情報発信

(3) 災害からの復興と防災レジリエンス強化

・能登半島地震からの復旧・復興に向けた要望活動の実施、復旧・復興状況の定期的な更新・情報発信、能登産品の活用促進に向けた取組み【新規】
・ＢＣＭアンケート結果を踏まえた企業の防災・減災の課題解決に資する講演会の開催【新規】

(4) 東京一極集中の是正

・北陸地域への企業誘致・投資促進に資する要望活動、展示会への出展

２.「拓く北陸」～北陸企業の労働生産性の向上と成長～

(1) 新たな価値創出（高付加価値化、新事業創出）

・域内外スタートアップ支援団体との連携強化と共催イベント開催
・地場産業の高付加価値化や域内循環・調達の必要性に対する意識醸成セミナーの開催【新規】

(2) 企業のＤＸ推進と人材育成

・ＡＩ等を活用した生産性向上や新たな価値創出事例に関する情報提供、大学等との連携によるＤＸ人材育成

(3) オープンデータ利活用の推進

・オープンデータ利活用に向けたワーキンググループの設置【新規】

(4) カーボンニュートラルの実現を目指したエネルギー・環境対策

・北陸企業のカーボンニュートラル経営推進に向け、「カーボンニュートラルＢＡＳＥ北陸」参画者の連携強化およびイベントや情報発信の継続的な実施

(5) 海外市場の開拓

・海外現地との経済交流・視察事業の推進
・海外ビジネス環境調査・情報発信の強化
・海外販路・顧客開拓支援とビジネスマッチングの推進

３.「魅せる北陸」～北陸地域・企業のブランド化～

(1) ＤＥＩ推進

・「女性の就業意識に関する実態調査」実施【2020年度、2023年度に続く第3回調査】
・三県と連携したアンコンシャスバイアス解消に関する提言【新規】
・外国人留学生・留学生ＯＢと企業との情報交換に資する交流会の実施

(2) 観光促進

・自然・食・文化等をテーマにした広域周遊観光ルートの提案【新規】
・観光業の生産性向上、人材育成に対する支援

(3) 情報発信による北陸のブランディング

・ウェブサイト（リニューアル予定）や北経連トピックス等を通じた会員の取組みおよび地域の先進事例の域内外への発信【新規】

(4) 会員間の交流促進

・会員懇談会や委員会の開催方法見直し等による会員間の交流促進【新規】

4.「広域リージョン連携」、「北陸戦略連携協議会」等を通した連携・協働の推進

・「北陸三県広域リージョン連携」および「中部広域リージョン連携」の各プロジェクトへの参画【新規】

・北陸地域共通の諸課題について議論を深める実務者レベルの協議会「北陸戦略連携協議会」を活用した官民連携の推進【新規】

以上の方針に基づき、各委員会で2026年度事業計画案を審議・策定（3～4月）の上、6月の定期総会で決定する予定。

【2025年度の主な取組み】

●第六次中期アクションプランの策定

・「第五次中期アクションプラン」の実績評価、北陸を取り巻く環境の整理

・「スマート・リージョン北陸」、「ＣＮ・ＧＸ」、「ＤＸ・スタートアップ」、「ＤＥＩ・ウェルビーイング」をテーマに検討会の実施

・各委員会・副会長・大学等・他経済団体等との意見交換の実施

●能登半島地震・奥能登豪雨からの復旧・復興に向けた取組み

・令和６年能登半島地震・奥能登豪雨に関する要望活動

・能登半島地震・奥能登豪雨からの産業復興に向け、経団連・自治体と連携し輪島塗大型地球儀「夜の地球 Earth at Night」の大阪・関西万博への展示支援、ＢＣＭに関するアンケート調査の実施・結果の公表、能登復興に向けた座談会の実施、能登応援ツアーの実施、ウェブサイトを活用した情報発信

●スマート・リージョン北陸に向けた社会基盤整備の促進

・北陸新幹線の大阪までの早期全線開業に向けた政府等への要望活動、建設促進大会への参画

・北陸地域でのカーボンニュートラル推進に向けた産学官金プラットフォーム「カーボンニュートラルＢＡＳＥ北陸」の運営

●北陸企業の労働生産性向上と成長

・大学発スタートアップ創出事業「テック・スタートアップ北陸」等への参画

・「北陸デスティネーションキャンペーン」等、北陸新幹線敦賀開業を活かした北陸三県への誘客活動

・有望海外市場（ベトナム）のビジネス環境調査

●北陸企業の「ダイバーシティ＆インクルージョン」ブランド化の推進

・女性活躍に関する会員企業の取り組み状況や女性の就労意識の調査結果の情報発信

・外国人留学生と留学生ＯＢとの意見交換会、外国人留学生採用に関するシンポジウムの開催

●「広域リージョン連携」、「北陸戦略連携協議会」の設立

・「北陸三県広域リージョン連携」および「中部広域リージョン連携」の宣言

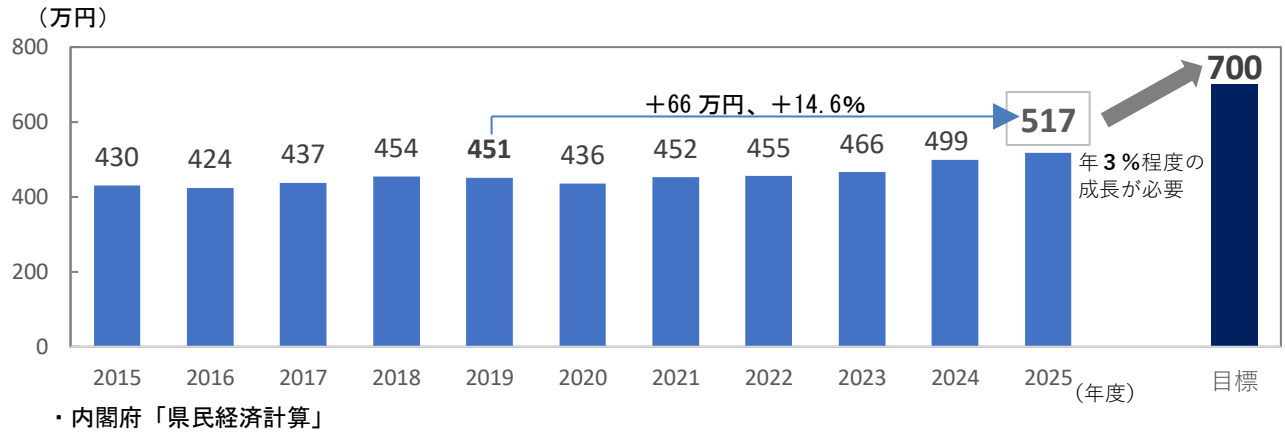
・「北陸戦略連携協議会」の設立

【一人当たりＧＲＰ（域内総生産）目標の達成に向けて】

北陸の2025年度一人当たりＧＲＰは517万円（名目値、(一社)北陸経済研究所試算）。

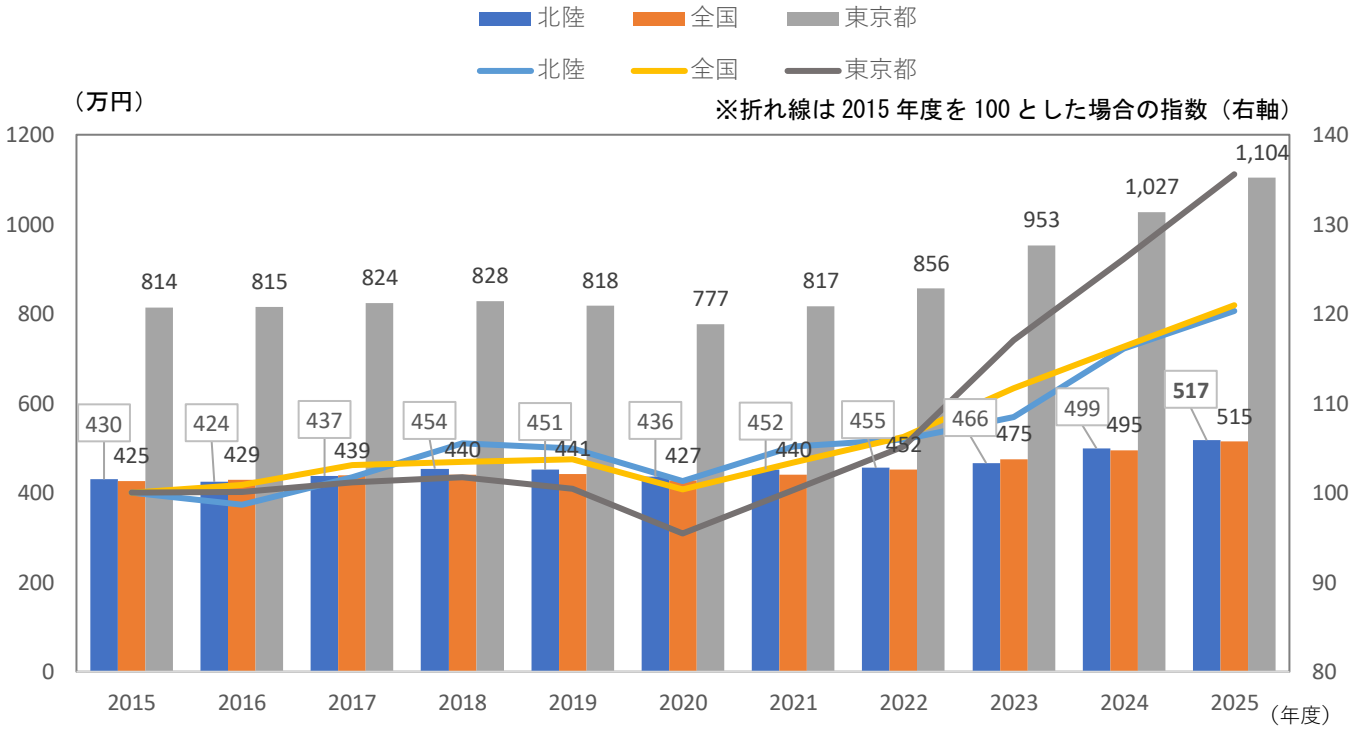
北陸近未来ビジョンを公表した2019年度に比べ66万円増加（＋14.6%）し、2015年度以降で最も高い値となったが、2030年代中頃に目標とする700万円に到達するためには、北陸の産業構造や高い技術力などの強みを基盤に、高速交通網の整備による経済好循環創出の基盤強化やＧＸ・ＤＸ推進による投資の呼び込み、地場産業の高付加価値化や新事業創出による新たな価値創出、観光促進を通じた域外需要の取込み、地域ブランディングによる交流人口の増加等の取組みを通じて、増加ペースを上げていく必要がある。

（参考１）北陸における一人当たり名目ＧＲＰの推移



・内閣府「県民経済計算」
・2023～2025 年度は、（一社）北陸経済研究所による推計

（参考２）一人当たり名目ＧＲＰの推移（北陸、全国、東京都）



・内閣府「国民経済計算」「県民経済計算」
・北陸および東京都の 2023 年～2025 年度は、（一社）北陸経済研究所による推計
・全国の 2025 年度は、（一社）北陸経済研究所による推計

以　上